



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 29 年 2 月 11 日(土) のしろまち灯り・冬 編

平成 19 年 2 月から始まった「のしろまち灯り・冬」も地域の皆様に支えられて、今年度で 11 目を迎えました。

今年の 1 月 4 日には代市役所新庁舎が開庁し、木に包まれた明るく開放感のある空間となっています。今年度の「まち灯り・冬」は、この新庁舎開庁を祝うために、新庁舎の南側にあるさくら庭と、旧議事堂を会場として、市民団体としては初めてこの新庁舎を使用させていただきました。

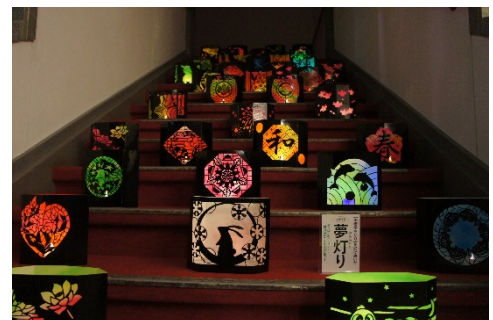
前日までは日本列島が寒波に見舞われ、毎日「雪」との戦いが続いており、凍えるような寒さの中、除雪や会場設営を行いました。

しかし！まち灯り当日は午前中には暴風雪警報も解除され、なんと青空が広がりました！昨年度は大雪、前年度は雨と、毎回悪天候に見舞われていた「まち灯り・冬」。今年も大荒れの天気の中で開催することになるのかなと思っていましたが、新庁舎開庁を祝いたいと思う皆さんの思いが届いたのか、1 日中快晴でした。

会場のさくら庭では屋台村を設置し、「やま久」の豚なんこつや能代うどん、「NPO 法人常磐ときめき隊」の本格的なピザやだまご鍋、「茶誠堂」のみそたんぼや玉こんにゃくをはじめとして地域のおいしいグルメが数多く振る舞われ、会場に用意したテーブルや椅子は常に満席状態。どの屋台にも行列ができるほどの人出で賑わいました。

また、「能代市役所有志」からは子供たちにわたあめを無料配布してもらった他、バルーンアートを披露していただき、「能代支援学校」には点灯式前に七夕ばやし太鼓演奏をしていただきました。点灯式には齊藤市長も駆けつけてくださり、会場で募集した約 40 人の点火希望者と一緒に様々な種類のろうそくに灯りを灯していただきました。

旧議事堂では入口近くの階段に「夢灯りプロジェクト」の牛乳パックでつくった灯籠が並べられ、様々なデザインの灯籠が幻想的な灯りを演出していました。





こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

また、「ウッディさんない」や「能代で木育を推進する会」による木のおもちゃで遊べるスペースや親子で秋田スギを使ったミニキッチンをつくる木工体験イベントを開催しました。木工体験は先着 30 名の募集でしたが、すぐに終了してしまうほど大人気で、木工体験を目当てに来てくださる方もたくさんいました。

17 時半からはシンガーソングライターの渡部絢也さんとイラストレーターのいせきあいさんによる「ちんあなごのうたコンサート」が開催され、旧議事堂にはたくさんの子供たちが集まり、大賑わいのコンサートになりました。

その他にも会場の周りでは、さくら庭の坂を利用したそり遊びコーナーや様々な灯りと一緒に写真がとれる撮影スポットを設けました。そり遊びは明るい時間のみの開催でしたが、終始たくさん子供たちがそり遊びに参加しており、なかにはマイそりを持参して遊びに来てくれた子供もいました。撮影スポットでも、様々な灯りに囲まれながら、恋人や友達と集合写真を撮っている方も多くみられました。

明るいうちも綺麗だった灯りですが、やっぱり本番は日が暮れてから。そしてなんと、2 月 22 日はちょうど満月の日！（なんたる偶然…！）10 種類、100 を超える数の灯りが空に浮かぶ星や満月とともに会場や新庁舎を照らし、辺りは幻想的な雰囲気になっていました。

天気にも恵まれた今年 11 回目の「のしろまち灯り・冬」。会場には多くの人々が訪れ、どの屋台でも終了時間前に完売するお店がほとんどでした。今年は齊藤市長にも参加いただき、地域を代表するような冬のイベントになってきているのではないかなと思っています。

のしろ白神ネットワークは「木」と「環境」「文化」にこだわり活動を続けてきています。「のしろまち灯り・冬」にもこのコンセプトが反映されていると思います。これからも、このコンセプトを活かし、市民主導の活動を支え続けて行ければいいなと思います。

文：川村 綾

